

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度嘉瀬川ダム流入量予測システム高度化等検討業務
業 務 概 要	流入量予測システム改良等 一式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 佐賀河川事務所長 古賀 満 佐賀県佐賀市兵庫南2丁目1番34号
契 約 年 月 日	令和 7年 3月21日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所 九州支社
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	29,986,000円(税込み)
予 定 価 格	29,986,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	佐賀県佐賀市富士町外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7年 3月22日
履 行 期 間 (至)	令和 8年 2月27日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度嘉瀬川ダム流入量予測システム高度化等検討業務
2. 履行場所 佐賀県佐賀市富士町外
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：(株)建設技術研究所 九州支社
電 話：(092)714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、嘉瀬川ダムの適切な操作に資するため、流入量予測モデルの精度向上や高度化について検討するとともに、検討したモデルを流入量予測システムに実装し、放流操作の判断を支援する機能の高度化を図るものである。

また、併せて、洪水後期放流の発電活用操作の検討及び異常洪水時防災操作の検討を行うものである。

- 2) 業務の内容

計画準備 1式、資料収集整理 1式、現行流入量予測システムの精度検証 1式、流入量予測モデルの高度化の検討 1式、流入量予測システムの操作性向上検討 1式、システム構築及び総合試験調整 1式、洪水後期放流活用（発電）操作試行の検討 1式、異常洪水時防災操作に関する検討 1式、報告書作成 1式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「評価テーマ」の技術提案において、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

佐賀河川事務所 管理課長